

## 幼小ジュニアプログラム

幼稚園・保育所の幼児、小学校低学年の児童向けの野外のプログラムです。団体で来館される場合に、事前に予約をしてご利用下さい。子ども達の活動に必要なものの中には有料のものもありますので、事前に博物館にご相談ください。

- このプログラムの指導者は団体引率の先生です。不明な点がありましたら事前に博物館職員と進め方やポイントなどを打ち合わせすることができます。(下見の際にお伝えすることもできます)
- 基本的にパッケージになっているので、持参するものではありません。
- プログラムに必要なものの受け渡しは、当日、インストラクターズルームで行います。実施する際にインストラクターズルームにお越しください。

### たねで遊ぼう

ねらい	植物のたねにはいろいろな形があることに気づく。 また、いろいろなたねの形によって植物がなかまをふやすためにさまざまな工夫をしていることを遊びを通して気づかせる。
使用場所	博物館野外(各幼稚園・保育所・小学校(教室、園庭、校庭)でも実施可)
活動時間	約40分
内容	いろいろな種類のたねの形を観察した後、本物のたねを飛ばし、植物がなかまをふやすための工夫を体感させる。
内容物	タネのおはなし(紙芝居)、提示用資料(キーワードである「とぶ」「たべられる」など)



イロハモミジのタネで遊ぶ



くつつくタネで遊ぶ

## タネであそぼう プログラム（進め方）

### 活動のねらい

・身近にある植物のタネの形や特徴にふれ、タネで遊ぶ活動を通して、自然に対しての興味・関心を持たせる。

### 活動時期

10月～2月

### 活動場所

園庭・公園など

### 活動時間

約40分

### 必要な道具

植物のタネ（モミジ、ニワウルシ、ガガイモ、ムクロジなど）タネの紙芝居

### 活動の流れ

活動	留意点
1 タネのおはなし ・紙芝居の「タネのおはなし」を聞く	○タネはどうやって遠くまでタネを運ぶのか想像させる。 ○タネには風に飛ばされるもの、動物にくっついて運ばれるもの、動物に食べられて運ばれるものがあることに気づかせる。
2 タネを飛ばして遊ぶ ・ガガイモのタネ（演示） ・モミジ ・ニワウルシ ・アオギリ ・オナモミ	○タネにはいろんな形や性質があることに気付く。 ・風に飛ばされる ・回転しながら落ちる ・くっつく
3 ムクロジのタネのおはなし	○はねつきに使われている黒い玉は、実はムクロジであると伝える。ムクロジのかわを水の入ったペットボトルに入れ、30回ほど振ると泡立つ。昔は石けんとして使用していた。
4 タネで遊んだ感想を発表する	○タネで遊んだ楽しさから身近な植物に興味・関心をもたせることができるようにする。

### 評価の観点

・ひとりひとりが楽しく活動し、身近な植物のタネに興味・関心をもつことができたか。